

第189号

会津坂下農業普及所だより

みどりのこだま

祝 昭和村の宿根カスミソウ栽培40周年！



令和5年度JA会津よつばかすみ草部会出荷会議の様子

昭和村の宿根カスミソウ栽培は昭和58年に始まり、今年で40周年を迎えます。大きな転機は、昭和60年の葉タバコ廃作奨励により、村内で栽培実績のあった宿根カスミソウへの経営転換が図られたことでした。当時、宿根カスミソウを導入するに当たり、昭和村の夏季冷涼な気候が栽培に適していたこと、葉タバコで使用していたハウスの活用ができたこと、流行の花として宿根カスミソウの単価が高かったことなどの好条件が揃っていました。

そして、この40年間で、昭和村だけでなく、近隣町村にも栽培が拡大し、県内外から「宿根カスミソウを栽培したい」という方々を迎え入れ、産地として発展してきました。

昭和村、柳津町、三島町、金山町の生産者からなる「JA会津よつばかすみ草部会」の販売額は、令和3年度には5億円、令和4年度には6億円を超え、過去最高を更新しています。また、今年度は7戸の生産者が新たに部会に加入したことで、部会員数が92戸となり、栽培面積も27.7haまで拡大し、約550万本の出荷計画となっています。さらに、令和6年度の就農希望者に対する研修をすでに始めており、新たな担い手確保や人材育成も進められています。

このほか、現在、JA会津よつばでは「昭和かすみ草」で地理的表示（GI）保護制度に登録申請をしています。登録されれば、花きでは全国で2例目となり、GIブランドとして、益々のPRが図られることとなります。

また、今年4月には昭和村が「かすみ草の村」宣言をしました。昔も今もこれからも、昭和村が牽引役を務めながら4町村で連携して「昭和かすみ草」の「百年産地」を目指します。

当所では、これまでの40年間以上に、今後も栽培技術指導、担い手の育成確保に取組みながら、「百年産地」の実現を支援して参ります。

（主任主査 平野）

きゅうり環境制御基礎セミナーを開催！

会津坂下農業普及所では令和4年度から「ICT活用園芸産地革新モデル確立事業」を活用し、夏秋きゅうりにおけるミスト散布による高温対策実証に取り組んでいます。この取組では、ICTを活用した環境制御測定装置を用いて、温度や湿度、飽差等のデータをとりながら、ミストによる温度の上昇抑制効果、生育・収量への影響等を調査しています。

令和5年2月13日(月)にきゅうり環境制御基礎セミナーを開催し、渡辺パイプ株式会社より市川真二氏をお招きし、環境測定データの活用方法、農業総合センター柳内柚香研究員よりミスト試験結果、当普及所より実証



きゅうり環境制御基礎セミナーの様子

結果について報告させていただきました。本年は施肥時期の影響についても調査しながら、引き続き実証に取り組めます。
(副主査 浅野)

両沼農村青年クラブ(4Hクラブ)の活動紹介

4Hクラブとは？

将来の日本の農業を支える若い農業者が組織し、農業経営を行ううえでの身近な課題の解決方法や、より良い技術を検討するためのプロジェクト活動を中心に、消費者や他クラブとの交流、地域ボランティア活動を行っています。

活動内容は？

管内では、「両沼農村青年クラブ」という名称で活動しています。約20年前の最盛期以降、メンバーの減少により活動が停滞していましたが、現在は17名まで増加し、再び活動が盛り上がっています。今年は、北海道の4Hクラブの取組を参考に、それぞれのほ場に綿製のパンツを埋め、土壌の微生物活性を調査します。

いつでもメンバー募集中です！興味のある方は、普及所までご連絡ください。(技師 石川)



4Hクラブの活動の様子

新任の指導農業士さんを紹介します！

指導農業士は、「自らが優れた農業経営を行い、その農業経営を通じて農村青少年の育成に指導的な役割を果たしている農業者」を福島県が認定する制度で、令和5年1月、当管内からは1名の新規認定者が誕生しました。

菅家新一郎氏は、平成19年度に認定農業者となり、旧JA会津みどりかすみ草部会・金山町上野原営農組合等の組織活動への積極的な参画や若手かすみ草栽培農業者の確保育成に深い理解と熱意を持ち、地域ブランド力向上への思いも強く、周囲の花き農家からも期待される存在です。

《謝辞》

福島県指導農業士として、御活躍されました会津坂下町の角田藤江氏(平成23年度認定)が、令和4年度御退任されました。長い間御尽力いただき、深く感謝申し上げます。

今後とも、地域農業の発展のため、御支援をお願いいたします。(専門員 小島)



菅家 新一郎氏(金山町本名)
『営農類型』 花卉単一

展示ほ・実証ほの取り組み

令和5年度の会津坂下農業普及所の展示ほ・実証ほの取り組みを紹介します！

水稲の取り組み

湯川村ドローン直播実証試験

昨年度の会津坂下町で取り組んだ「グリーンな栽培体系への転換サポート事業」を、令和5年度は湯川村で実施し、環境に優しい技術と省力化技術を組み合わせた、新しい栽培体系の実証を行います。

環境に優しい技術では、「基肥一発肥料」から「基肥+ドローン追肥」に転換することで、マイクロプラスチック資材の削減を狙います。省力化技術では、ドローン直播により、育苗や田植え作業の省略を狙います。加えて、主食用米であるコシヒカリをドローン直播で栽培しても、収量・品質を確保できるかが今回のポイントです。

4月28日(金)に種子コーティング指導会、5月2日(火)に播種実演会を開催し



ドローン直播の様子

ました。今後は、生育調査や現地検討会を実施し、生産者や関係機関と連携して、年度内に栽培マニュアルを作成します。

(技師 石川)

分類	目的	内容	調査地
野菜の 取り組み	サツマイモ栽培の生分解性マルチの有用性を検討します。	◆さつまいもの生分解性マルチの調査 生分解性マルチを活用した収量・品質の安定性及び作業性を検証します。	会津坂下町
	施設きゅうりにおける高温対策について実証します。	◆ICT活用園芸産地革新事業実証ほ 施設きゅうりにおけるミスト散布による高温対策について環境測定を行い、実証します。	会津坂下町 会津美里町
果樹の 取り組み	総合的防除対策の効果を検証します。	◇主要病害虫の総合的防除の実証 モモせん孔細菌病、ナシ黒星病、リンゴのハダニ類、ブドウのクビアカスカシバ対策について実証します。	会津坂下町 会津美里町
花きの 取り組み	宿根カスミソウの秋冷期における開花促進技術を検討します。	◆宿根カスミソウの電照栽培による秋冷期の開花促進技術検討 秋冷期出荷の宿根カスミソウへの電照方法について、慣行の暗期中断と夕方日長延長を比較し、開花促進効果を検討します。	会津若松市
	キク類を加害するアザミウマ類の発生予察を行います。	◆キク類を加害するアザミウマ類の発生予察調査 露地栽培のキク類ほ場にて青色粘着板を設置してアザミウマ類を誘捕し、発生予察及び発生種を同定し、適期防除のための情報発信を行います。	湯川村
鳥獣被害 対策の 取り組み	積雪地帯における鳥獣被害防止対策の実証を行っています。	◇鳥獣被害防止対策モデル集落 電気柵や物理防護柵を利用して安定的に被害を防止できるか検証しています。積雪地帯では、物理防護柵は雪により倒壊・破損する可能性が高いため、今年度は冬場の管理方法や設置翌年の資材の耐久性等についての検証を行います。	昭和村

令和5年度職員紹介

会津坂下農業普及所の職員について、氏名、専門、主な担当の順にご紹介します！



金山普及所会計年度任用事務職員の雪下まゆみ氏は撮影時欠席

桑名篤 (果樹・会津農林事務所農業振興普及部兼任) ・有機農業	小島一良 (作物) ・農作業安全 ・集落営農	政井紀恵 (果樹) ・6次化 ・新規就農者	石川涼平 (作物) ・スマート農業推進 ・4Hクラブ	星野輝彦 (野菜特産) ・農業災害 ・農福連携	岡直樹 (畜産) ・認定農業者 ・農業法人	佐々木夏輝 (花き) ・鳥獣害対策 ・地力増進	那知上一房 (農地中間管理機構駐在員)
氏名(専門) ・主な担当	平敏伸 (作物・金山普及所) ・鳥獣害対策 ・地域農産物の推進(赤カボチャ、落花生等)	須佐芽生 (会計年度任用事務職員)	角田小夜子 (モニタリング)	浅野千春 (野菜特産) ・GAP推進 ・園芸モニタリング	酒井麻理子 (花き) ・植物防疫 ・農業適正使用		
主任主査 棚橋紘 (作物)	次長(兼) 地域農業推進課長 橋本伝示 (作物)	所長(兼) 農業振興普及部主幹 江川孝二 (花き)	経営支援課長 岩淵幸治 (果樹)	主任主査 平野朝子 (花き・金山普及所)			

◆FGAPの認証基準が新しくなりました

令和4年12月より「FGAP2022」として、国際水準に準拠した新しい認証基準となりました。会津坂下農業普及所では、「FGAP2017」からの移行支援も行っております。

取り組みたい方、興味がある方は、ぜひご相談ください。



FGAP認証制度について

◆土壌分析の実施に取り組みましょう！

土壌分析の結果から、ほ場の環境を把握することが大切です。当所では土壌分析結果に基づく施肥設計を作成支援しておりますので、ご相談ください。

◆内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所

(住所) 河沼郡会津坂下町大字見明字南原881 (電話) 0242-83-2112

金山普及所

(住所) 大沼郡金山町大字川口字上町656-1 (電話) 0241-54-2801